

第2期計画書 第3章・基本目標3の文言に関する委員各位からのご意見等について

委員名	具体案等	理由等(要約筆記)
A 委員	「地域まるごと子育て支援」を進めます (前期計画の文言を継続)	文面が堅くなりがちな計画書において、「地域全体で」を意味する言葉を、キャッチフレーズ的に表現しており、市民にとって読みやすく、分かりやすく、覚えやすい言葉になっていると思う。
B 委員	①「地域みんなで子育て支援」を進めます ②「地域いっしょに子育て支援」を進めます	「まるごと」、「みんなで」、「いっしょに」、いずれも意味合い的には理解できるが、第2回会議での委員意見を踏まえると、①か②が妥当だと思う。
C 委員	「地域まるごと子育て支援」を進めます (前期計画の文言を継続)	基本理念『地域と共にすべての子どもと大人がいっしょに育つまち』で意味する「大人も地域と触れ合い、視野を広げ成長することがより良い子育てにつながることを表現するフレーズになっていると思う。「みんなで」や「いっしょに」は子育て支援のみにスポットが当たってしまっているように感じる。
D 委員	「地域まるごと子育て支援」を進めます (前期計画の文言を継続) ※ただし、説明文中に一部補記(詳細は右記)	地域住民が主体的に参画していくことを表現する言葉としては、「みんなで」が良いかと思うが、上位計画との文言の関係性を考慮し、基本目標の文言は継続し、説明文中に「地域住民などの多様な人材に参画していただくエリアネットワークを活用しながら、みんなで一緒に「地域まるごと子育て支援」を進めていきます」と記載するのが良いと思う。
E 委員	「地域まるごと子育て支援」を進めます (前期計画の文言を継続)	前期計画から基本目標の文言を変更することは非常に大きな意味をもつ。前期計画の文言は包括的な表現となっていると思う。

F 委員	「地域みんなで子育て支援」を進めます	子育て世帯が孤立することなく、地域が連携して支えるような地域づくりを目指すことをイメージするなら、「みんなで」が分かりやすいと思う。「まるごと」は口語調で計画書にはふさわしくないように感じる。
G 委員	「地域で取り組む子育て支援」を進めよう	地域全体で取り組んでこそその子育て支援だと思う。「まるごと」も「みんなで」も意味が通じないように感じる。
H 委員		地域住民の多様性についても尊重し、配慮した表現が良いと思う。
I 委員	「地域総掛かりで、子どもの育成支援」を進めます	地域を強調した具体的な表現(新・放課後子ども総合プランの通知文の文言を引用)に変えたうえで、説明文第1段落部分を「子育てしやすいまちづくりに向けて、保育・子育て施設・学校を拠点として、保健・医療機関、自治組織、地域住民・団体等と連携・協働の支援協力関係を構築し、地域全体で子どもたちの育成の支援を進めていきます」に修正するのが良いと思う。
J 委員	「地域みんなの子育て支援」を進めます	地域とのつながりを持つための事業をイメージするなら、「みんなの」が良いかと思う。「まるごと」は、そのまま全部、すなわち孤立した家庭もそのままの状態支援するように感じる。「いっしょに」は、みんな同じようにするイメージにつながり、周囲と同じようにあわせられない人にとって窮屈に感じる。
K 委員	「地域みんなで子育て支援」を進めます	地域住民が主体的に子育てにかかわっていくことを表現する言葉として「みんなで」が良いと思う。併せて、主体が地域住民であることが強調され、使命感がうまれるようにも感じる。「まるごと」は、主体が行政であるかのように感じる。

※ 審議の継続性の観点から、第2回会議にご出席された前任委員各位からも同様に意見等を募集しました。